



CAMPUS GUIDE

Graduate School of Nursing Art and Science, University of Hyogo

兵庫県立大学大学院看護学研究科
キャンパスガイド



●研究科長メッセージ

超高齢・少子化社会の到来や医療技術の発展と医療倫理の問題、社会保障をめぐる諸課題は、私たちの生活に直接・間接的に大きな影響を与えています。また地球環境破壊や新興・再興感染症、巨大災害などによる社会への衝撃も計り知れなく、私たちはかつてない健康課題に直面しています。

このような今日的課題に対応するために、本研究科には多彩な専攻・コースを設定しています。

博士前期課程には高度実践看護コース、研究コース、実践リーダーコース（2021年から名称変更）があります。高度実践看護コースは専門看護師制度の設立に大きく貢献しており、現在、高度実践看護師教育課程の認定を受けた7領域があります。働きながら学べる実践リーダーコースでは、保健・医療・福祉などのさまざまな実践現場においてリーダーシップを発揮する人材を育成しています。また令和2年度から養護教諭を主な対象とした学校保健学領域を開設し、医療・看護・保健・教育の各分野に精通し、各職種と連携が深められる人材の育成がスタートしました。

博士後期課程においては、日本国内外の看護学の分野において、広い視野のもとに自立して看護学を研究できる人材の育成、特に創造性豊かで高度な研究能力を有する人材の育成を目指しています。また、文部科学省博士課程教育リーディングプログラムを受けて、高知県立大学、千葉大学、東京医科歯科大学、日本赤十字看護大学と共同で5年一貫博士課程の共同災害看護学専攻（DNGL）を設けており、多様化・複雑化する災害に対して、高度な実践力をもって活動し新たな支援枠組みを提案できるグローバルリーダーを養成しています。2021年度からは災害看護学専門領域として、DNGLの教育を継承した5年一貫の新たなコースに替わります。WHO災害と健康危機管理に関する看護協力センターに指定されている地域ケア開発研究所と連携しながら、研究・教育・実践を連動させて研究者を育成しています。



看護学研究科長 大野 かおり

人間の尊厳を基盤とし、保健・医療・福祉環境の変化に斬新的、創造的かつ先駆的に対応できる人材を育成し、実践と研究を通じて看護学の発展に寄与することを目的としています。

●入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本研究科は、教育理念に基づき、各専攻の特性に沿って以下のような人を求めます。

<看護学専攻>

博士前期課程（修士課程）

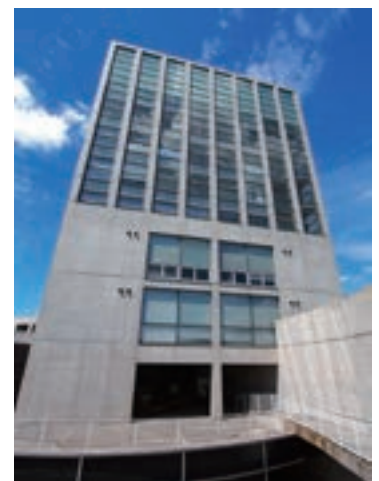
- (1) 看護学の基礎的な能力を有する人
- (2) 倫理的感受性をもって保健・医療・福祉の状況を捉え、柔軟に行動できる人
- (3) 論理的思考をもって看護学の知識を自ら学んでいくことができる人
- (4) 国内外において、看護学や看護実践の発展に寄与する意欲のある人

博士後期課程（博士課程）

- (1) 広い視野で看護の課題を探究していこうという姿勢がある人
- (2) 積極的、創造的に対応し、看護学の発展に寄与する意欲のある人

博士前期・後期課程〈災害看護グローバルリーダーコース〉

- (1) 災害看護グローバルリーダーとしてのビジョンを持っている人
- (2) 災害看護グローバルリーダーとしての活動にコミットメントでき、その能力を伸ばしていくことができる人
- (3) 英語で基本的なコミュニケーションがとれる人



●各課程における専門領域と設置コース

看護学研究科は、博士前期課程（看護学修士）、博士後期課程（看護学博士）があります。博士前期課程には、高度実践看護（CNS）コース、研究コース、実践リーダーコースの3コースがあります。博士後期課程は、研究コースです。また、博士前期・後期課程の5年一貫で学ぶ災害看護グローバルリーダーコースがあります。

博士後期課程

研究コース

- | | | |
|--------|------|------|
| 治療看護 | 母性看護 | 在宅看護 |
| 看護病態機能 | 小児看護 | 組織看護 |
| 感染看護 | 成人看護 | 地域看護 |
| 生活機能看護 | 老人看護 | 国際看護 |
| 看護情報 | 精神看護 | 災害看護 |

高度な実践能力をもって現場の
変革に繋がる方略を導き出す

高度実践看護コース

- | | |
|------|------|
| がん看護 | 母性看護 |
| 成人看護 | 小児看護 |
| 老人看護 | 精神看護 |
| | 在宅看護 |

実践に根差した研究課題を探索し
看護学の体系化と発展を目指す

研究コース

- | | | |
|--------|------|------|
| 看護生体機能 | がん看護 | 精神看護 |
| 感染看護 | 成人看護 | 在宅看護 |
| 生活機能看護 | 老人看護 | 組織看護 |
| 環境設計看護 | 母性看護 | 地域看護 |
| 看護教育 | 小児看護 | 国際看護 |

博士前期課程

地域・教育・産業・医療の場における
ヒューマンケアを改革する

実践リーダーコース

- | | |
|------|------|
| 組織看護 | 学校保健 |
| 地域看護 | 看護情報 |

博士前期・後期課程（5年一貫）

災害看護グローバルリーダーコース

災害看護

●博士前期課程における専門領域と設置コース

専門領域	研究コース	高度実践看護コース ※1	実践リーダーコース ※2	災害看護グローバルリーダーコース
看護生体機能学	○			
感染看護学	○			
生活機能看護学	○			
環境設計看護学	○			
看護教育学	○			
がん看護学	○	○		
成人看護学	○	○		
老人看護学	○	○		
母性看護学	○	○		
小児看護学	○ ※3	○ ※3		
精神看護学	○	○		
在宅看護学	○	○		
国際看護学	○			
組織看護学	○		○	
地域看護学	○ ※3		○	
学校保健学			○ ※3	
看護情報学			○ ※4	
災害看護学				○ ※4, 5

※1) 高度実践看護コースは日本看護系大学協議会において高度実践看護師教育課程として認定を受けています。

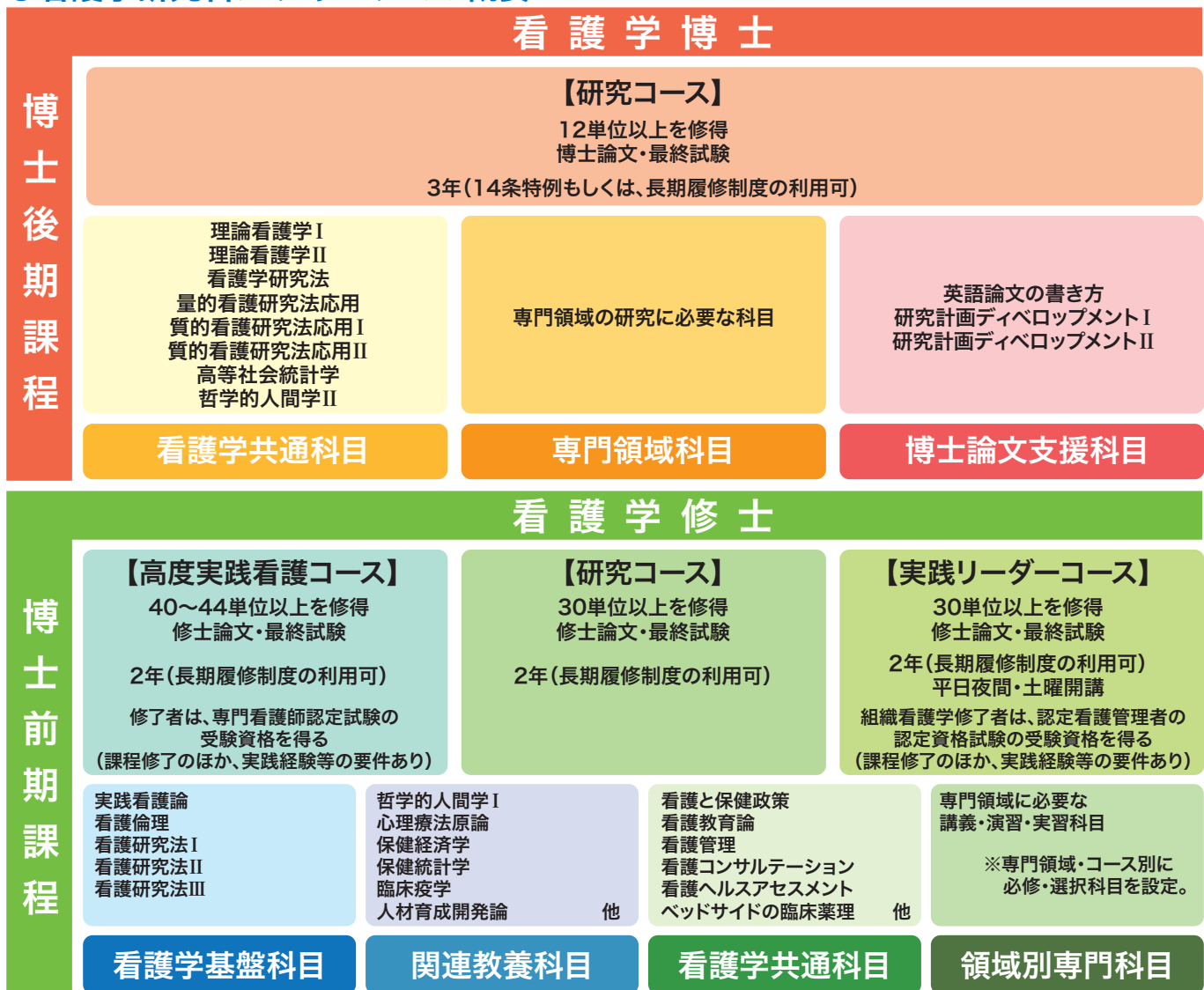
※2) 実践リーダーコースは昼夜開講制です。

※3) 養護教諭専修免許状を取得することが可能なコースです。

※4) 2021年4月開講

※5) 災害看護グローバルリーダーコースは、博士前期・後期5年一貫コースです。

●看護学研究科カリキュラムの概要



コースの紹介

博士前期課程の高度実践看護コースは、がん看護、母性看護、小児看護、精神看護、成人看護、老人看護、在宅看護の7領域が38単位の専門看護師（CNS）教育課程の認定を受け、開講しています。身体機能と疾患や症状の専門的見識だけでなく、病者体験や人の成長発達過程を基軸に人々が抱え持つ健康問題の特徴を多面的に理解し、それぞれの学問領域の専門性に裏付けられた看護を展開する実践力を養っていきます。

カリキュラムは、各領域に求められる専門性に準じて、講義・演習・実習が循環的に組まれています。特に、実習では、臨床現場における実際のトレーニングと実践内容に対し、専門看護師や担当教員から個別のスーパーバイズが提供され、卓越した看護実践能力を育む環境を整えています。

進学にあたり、退職される場合、休職される場合があります。CNS コースはカリキュラムが過密であり、アルバイトをする余裕はありませんので、奨学金を利用されたりしています。また、厚生労働省の教育訓練給付制度により、修了した際、教育訓練費の一部がハローワークから支給されます。就職率は100%です。病院、訪問看護ステーションに就職し、CNSとしての第一歩を踏み出され、活躍されています。



精神看護学専攻 2018年度入学
兵庫県立西宮病院

小澤 亜希絵



私はこれまで県立病院の3次救命救急センターに勤務してきました。様々な精神疾患を有する患者が搬送される現場において、精神症状の査定、コミュニケーション技術や対応など、適切な看護介入とは何かに向き合う中で、リエゾン精神看護 CNS として学びを深め、精神看護領域の充実や質向上、そして患者家族、スタッフに貢献したいと考え進学しました。大学院では他領域の先生方や同期生と議論を重ねる機会も多く、援助に必要な諸理論を基に患者を多面的に理解したり、フィールドワークや実習の積み重ねで臨床経験を諸理論や知識と結び付けて考えていく中で自身の視野の広がりを感じています。精神領域の専門性に裏付けられた看護を展開する実践力を養うことが出来るよう、日々精神領域の先生方と共に精神看護の幅広さや奥深さに向き合い、貴重で充実した大学院生活を送っています。

在学生メッセージ

博士前期課程 がん看護学 2018年度修了
京都大学医学部附属病院 腫瘍内科

黒田 貴子



私は、がん看護高度実践コースを修了後、休職していた大学病院へ復職し、腫瘍内科・放射線治療科・外来化学療法室でのがん看護に携わっています。進学前、「私が問題とと思っていることは本当の問題なのだろうか。私は患者さんが困っていることをちゃんとキャッチ出来ているのだろうか」と、思うようになり高度実践看護コースへの進学を決めました。在学中は、理論や倫理、研究法や各領域の高度な知識・実践等を学び、復職後には自分の視点や思考が大きく変わったことを実感しています。そして、何か困難な状況に遭遇したときに自分が解決する知識や技術を持ち合わせていない場合でも、対処方法を検討する力がついたことも大学院で得た大きな学びの1つと感じています。また、各領域の同期との出会いは、修了後も相談し励まし合える貴重な存在となっています。

修了生メッセージ

コースの紹介

博士前期課程の研究コースは、15領域が開講しています。各領域において、専門性に基づく高度で幅広い知識と深い対象理解、現象理解を背景に、健康問題および看護ケア方法について探索的に取り組む能力を修得します。

カリキュラムは、看護学基盤科目の実践看護論および看護研究法Ⅰに加え、看護研究法ⅡとⅢについても専門領域によっては必修としています。関連教養科目、看護学共通科目、領域別専門科目の中から学生の研究テーマなどの必要性に応じて履修し、合計30単位以上を修得します。特に、専門領域別に配置されている看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、体系的な文献検索やフィールドワークを通して、研究課題の明確化、研究方法の検討など研究計画書を作成するプロセスを学び、修士論文作成に向けて、研究計画に基づいた研究の実施と学術論文としての記述方法を学びます。修士論文作成のプロセスにおいて、担当教員から個別のスーパーバイズが提供され、研究能力を育む環境を整えています。

修了後は、看護系大学等の教育機関において研究者としての第一歩を踏み出したり、医療機関等に就職し、教育担当や臨床研究指導を行うなど、研究能力を活かしつつ様々な場で活躍されています。また、博士後期課程へ進学する学生もいます。



在学生メッセージ

環境設計看護学 2018年度入学

山岡 千鶴



私は、大学卒業後8年間、重症集中ケアに携わってきました。そのなかで、対象者の方々の“生活”を支える看護の難しさを実感しました。このような経験から、療養環境、ケア環境、看護実践・教育環境を、看護職としてどのように設計していくかに重要性を感じ、修士課程に進みました。研究コースは、専門領域を深めることに加え、高度実践看護コースの履修生と共に、看護現象を焦点化するための看護学全般のより深い知識や実践、理論について学ぶ機会が多くあります。また、実習やフィールドワークで捉えた現象に対して、どのようにアプローチするかを、分野を越えて相談したり議論できる環境が整っています。私にとって、修士課程で過ごす時間は、研究者や実践家としての基盤となる看護観と自分自身がじっくり向き合うための時間でもあり、これからの財産になっていくと思います。

修了生メッセージ

生活機能看護学領域 2017年度修了
実践基礎看護講座 看護生体機能学 助教

栗村 健司



私は、2018年3月に博士前期課程の生活機能看護学研究コースを修了し、現在は大学教員として教育や研究に携わっています。研究コースでは、より専門的な知識を学ぶことに加え、臨床場面から生まれた疑問や困りごとをリサーチクエストとして精錬させ、多面的かつ探索的に課題に取り組むための思考力を養うことができました。授業を通して、他分野・領域の実践者や研究者の方々とディスカッションできる機会も多く、その中で多様な考え方や視点に触れることができ、この2年間は本当に有意義な時間でした。今後は大学院での学びを発展させ、より良い看護実践に繋げていきたいと考えています。また、大学院で同じ志を持つ素晴らしい同期生や先輩、先生方との出会えたことは、私にとって大切な財産となっています。

コースの紹介

地域・学校・産業・医療機関を含む様々な場におけるヒューマンケアの実践に関する課題の解決に取り組み、人々の健康生活の実現に向けたケアおよびシステムのイノベーションにリーダーシップを発揮できる力の修得を目指すコースです。組織看護学及び地域看護学領域（通称：次世代看護リーダー）では、現場の「組織的変革を要する課題」への取り組み（プロジェクトの実践）を通し、人々の健康生活を支える新たなケアサービスの仕組みを創造・発展させることができる能力（戦略的計画構成力、状況分析評価力、組織的行動力、人材開発育成力、看護を創造発展させる力）の獲得を目指します。修士論文は、研究的思考過程を踏みながら、プロジェクトの実践・評価を論文にまとめます。学校保健学専門領域（通称：スクールヘルスプロモーション）では、養護教諭など、児童生徒や教職員の健康の保持増進に携わる方の学びと研究を支援します。修士論文は、スクールヘルスプロモーションに向けた、実践と密接した研究課題を設定して論文にまとめます。働きながら修学することを可能とするため、昼夜開講制（土曜日、平日夜間、集中開講）としています。また、2年間の学費で3年以上の在籍が認められる長期履修制度も導入しています。修了生は、それぞれが所属する職場（病院・保健所・事業所・学校等）でパワーアップして活躍しています。なお組織看護学領域の修了後は、日本看護協会認定看護管理者の認定審査を受けることができます（詳細は日本看護協会ホームページをご覧ください）。



地域看護学領域 2018年度入学
東大阪市保健所

大森 みなみ



行政保健師として中堅期の入り口に入った頃、「業務に追われるだけでなく、課題を探求し解決していく力をつけていきたい。」と思うようになり、この大学院へ入学しました。1年目はプロジェクトに向けて必要な方法や理論を沢山学びます。学んだ理論が業務の中で活かされているという実感を得たり、自組織における自分の立場や役割について思考を巡らせたりと、机上の学習と実践が融合していることが何よりもこのコースの魅力だと感じています。また、学ぶ中で「組織の一員として」「一人の看護職者として」の在り方を深く考えることができることが、自身の大きな財産になると思います。働きながら大学院に通うことは大変ではありますが、先生はもちろん同じコースの同僚の存在が大きく、励ましあい、切磋琢磨しあいながら、本当に貴重で充実した日々を過ごしています。

在学生メッセージ

地域看護学領域 2017年度修了
田辺三菱製薬株式会社

重松 美智子



企業の健康保険組合で保健師として働く中で、産業保健分野における専門職の役割とは一体何だろう？と悩んでいた頃、本コースの存在を知りました。働きながら学ぶことは、時間的には大きな負荷もかかりますが、看護学についてもう一度深く学びなおすことや、新たに関連する諸学問を学ぶことは、現場での悩みを解決するヒントがたくさんありました。本コースの先生方には、自分の中にある看護の根幹部分を深く大きく育てて頂き、改めて看護の道を選んだことを幸せに感じることができました。現在は、健康保険組合から会社の人事部へ異動し、会社の様々な健康施策に関わることができるようになり、やりがいを感じる毎日です。修士課程の2年間は短くあっという間の2年間です。しかしこの2年間の経験の前と後では、自分自身が大きく変化していることをきっと感じることができると感じています。

修了生メッセージ

コースの紹介

博士後期課程は、15の専門領域を置き、高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養い、日本国内外の看護学の分野において、広い視野のもとに自立して看護学を研究できる人材、特に創造豊かに研究能力を発揮できる人材の育成を目指しています。

博士後期課程のカリキュラムの特徴は、看護学の研究者の基礎をより確かにするため、理論看護学および看護学研究法、量的看護学研究法応用、質的看護学研究法応用、英語論文の書き方などを配しコースワークを充実させています。また、博士論文支援科目の研究計画ディベロップメントでは、博士論文となり得る研究を着実なプロセスで進めるために、学生各自がどのような研究を実施しようとしているのかを、看護学研究科の教員と博士後期課程の学生たちの前で発表し、参加者より研究に対する助言や示唆を、多角的に幅広く得ることができます。

また、個人のライフスタイルに応じて、働きながら学ぶ14条特例による履修や長期履修の制度があります。修了生の多くは、大学等の教育機関で教育研究者として看護学の発展に寄与しています。



在学生メッセージ

生活機能看護学領域 2018年度入学
滋賀医科大学医学部看護学科
公衆衛生看護学講座 特任助教

清水 奈穂美



私は、訪問看護師として、在宅における栄養管理や食支援を実践してきました。博士前期課程修了後は、在宅看護専門看護師の認定を受け、新卒訪問看護師の育成や地域の栄養ケアに関する支援に携わっています。博士後期課程では、理論看護学において概念構築の演習を踏まえ、概念構築から理論構築に至るステップを通して、実践のなかで気になっている現象を記述し、とても難しいですが概念化することの面白さや素晴らしさを学んでいます。また、大学院で得られた先生方や先輩や後輩との出会いは、多様な意見を伺うことができ、看護の新たな価値を見出す力や思考力を鍛えることにつながっています。仕事と学業の両立は大変ですが、大学院で看護学の発展を目指す研究を考えることは看護と向き合う貴重な時間となっています。

修了生メッセージ

成人看護学領域 2014年度修了
淑徳大学 看護栄養学部 看護学科

佐佐木 智絵

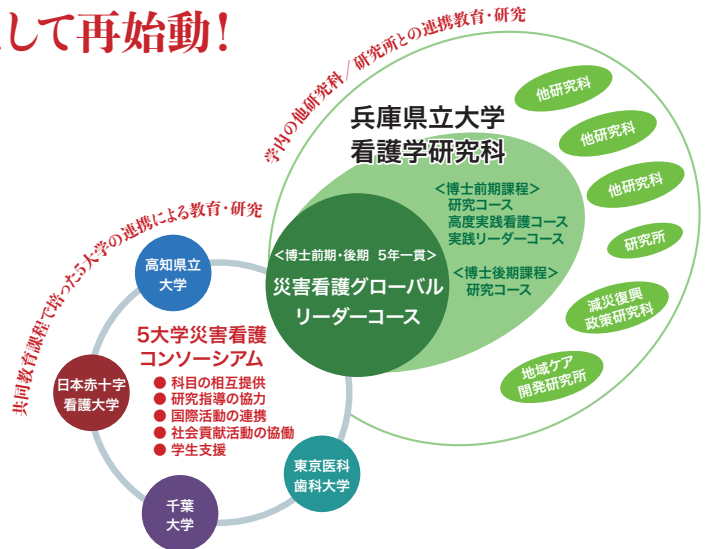


私にとって、博士後期課程に在学していた期間は、目からうるこを落とし続ける日々でした。こうした日々は苦しくもありましたが、領域を超えて学生同士がディスカッションできる科目や、学内外の様々な先生方からサポートをしていただける環境があったことで、充実した学生生活を過ごしました。また、博士論文を書いていくプロセスの中で、一つの現象を様々な視点から見つめ、起きていることを捉えなおして説明する力を得られたと感じています。これらの経験とつながりは、何にも代え難い財産になっています。得られた力を発揮し、少しでも臨床に還元できる研究を続け、また自分が学んできたものを学生に伝えていけるよう、研究と教育に努力を重ねていきたいと思っています。

災害看護学領域の新たなコースとして再始動！

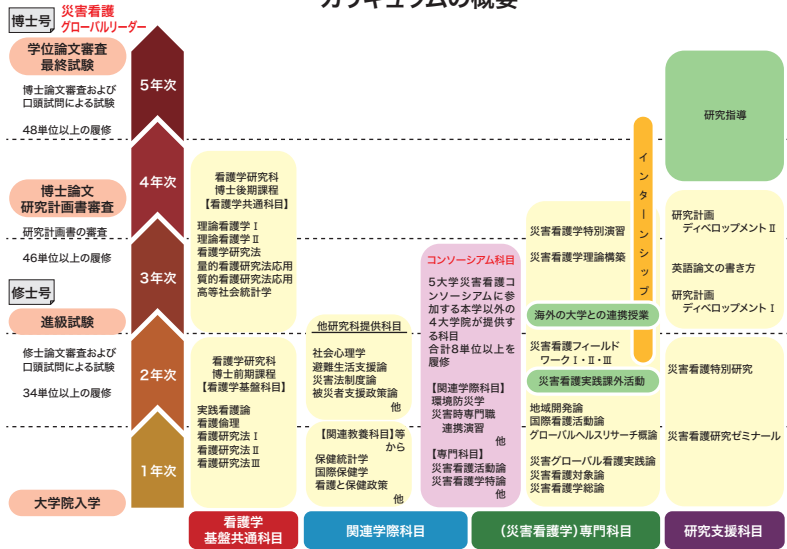
コースの紹介

2014年度より5大学（兵庫県立大学、高知県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学、日本赤十字看護大学）が共同で実施していた大学院共同災害看護学専攻・災害看護グローバルリーダー養成プログラム（DNGL、5年一貫博士課程）に替わり、2021年度からは本学独自のプログラムとして**兵庫県立大学大学院看護学専攻災害看護グローバルリーダーコース**がスタートします。新たなコースは、DNGL プログラムを継承し、“グローバルな視点を備えた高度な災害看護学の専門知識を有する災害看護グローバルリーダーの養成”という使命を引き継ぎながら、学際性・国際性をさらに強化し**看護学を基盤に減災復興の制度・政策へ柔軟かつ積極的に参画しリーダーシップを発揮する人材の養成**を目指す5年一貫コースです。



これまで DNGL プログラムを共に実施してきた4大学とは、これからも**コンソーシアム体制**による共同を継続していきます。災害看護学を学ぶ他大学の学生や教員とは、コンソーシアム科目の履修や交流活動を通して、共に災害看護学の探究を続けていきます。加えて、本学看護学研究科の他専門領域や減災復興政策研究科の教員や学生と共に学ぶ機会や交流を増やすことで、兵庫県立大学大学院への帰属意識を高めながら、災害看護学をより多角的、重層的に理解し探究していきます。本コースは博士前期・後期課程を継続する5年一貫コースですが、2年目の終わりに実施する進級試験に合格すると**修士号**が授与されます。また、5年間の学修を終えた暁には、博士（看護学）の学位と共に、災害看護グローバルリーダーとして認定されます。

災害看護グローバルリーダーコース(5年一貫)カリキュラムの概要



在学生メッセージ

一貫制博士課程 2019年度修了
武庫川女子大学

松尾 香織



私は、大学院看護学研究科共同災害看護学 5年一貫制博士課程を修了しました。大学院に入学する前は、病院の看護師として働いており、災害看護に関する知識はほとんどない状況でした。そのため、大学院では災害看護についての基礎を学び、実践し、そして実践した際の課題を研究につなげていくという一連の流れを経験しながら学修しました。5年一貫制課程のため、継続した学びができることにより、時間をかけ専門分野を追求することができました。じっくりと専門分野の活動や研究に集中できた時間、大学院だからこそ得られた学びや経験は今後のキャリアにおいても、とても価値のあることであったと思っています。

設備・環境

博士前期課程は、看護学部4階が専用フロアで、情報処理室、ゼミや講義を行う演習室、院生室などがあります。院生室は共有で使用しますが、領域をこえた学生同士の交流・情報交換ができます。

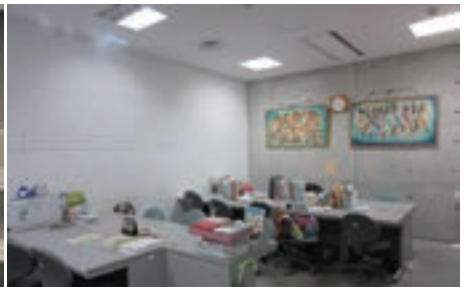
看護学部 4 階フロア



大学院 情報処理室



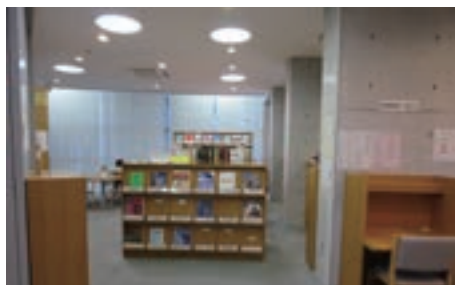
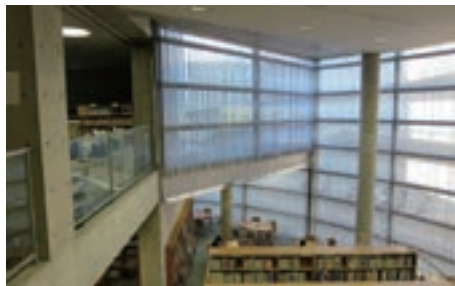
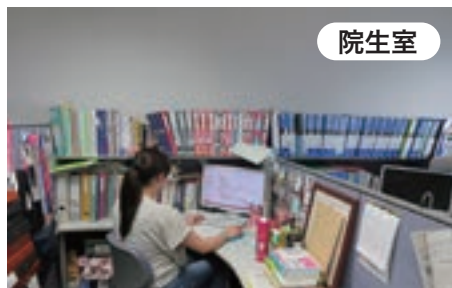
博士前期課程 院生室



博士後期課程、共同災害看護学専攻では、地域ケア開発研究所 2階に専用フロアがあります。院生室には、個別に使用できるスペースが準備されています。



地域ケア開発研究所 2 階



明石看護学術情報館は、看護学部 2 階にあります。大学院生は、申請により学外からの CINAHL の利用が可能です。

〈奨学金〉 本研究科では、博士前期課程（修士課程）の一部が厚生労働省の教育訓練給付制度の講座指定を受けています。受給資格等の詳細は事前に学務課にお問い合わせください。
 その他にも、日本学生支援機構奨学金など各種奨学金制度を利用することができます。入学後、学務課に相談してください。

〈入 試〉 日程：夏期募集（一般選抜・特別選抜・外国人留学生特別選抜） 8月下旬
 冬期募集（一般選抜のみ） 12月中旬

募集人員

課程名	募集人員	
	一般選抜 (夏期・冬期合わせて)	外国人留学生特別選抜 (夏期のみ)
博士前期課程 (修士課程)	25名 (特別選抜含む)	若干名
博士後期課程	4名	若干名

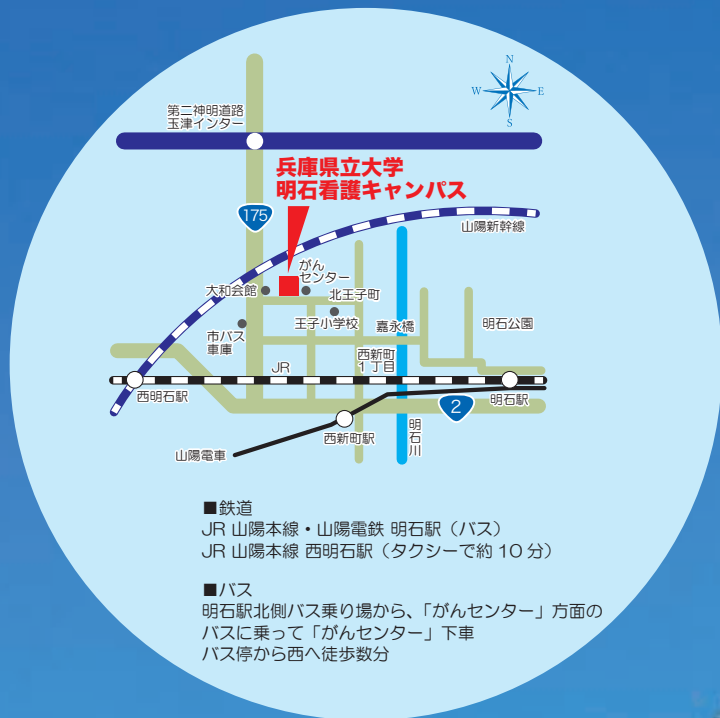
選抜方法

課程名	選抜方法	試験科目
博士前期課程	筆記試験、面接、 及び出願書類により行う	○英語 看護関連の英文の読解を含む ○専門科目 志望する専門領域を1科目受験 ○面接
博士後期課程	筆記試験、面接、 及び出願書類により行う	○英語 看護関連の英語論文の読解を含む ○専門科目 志望する専門領域を1科目受験 ○面接

※博士前期・後期5年一貫コース（災害看護学）の選抜方法は、博士前期課程に準じる。
 ※詳細は学生募集要項を参照。

〈入学料・授業料〉 入学料：県内者 282,000円 県外者 423,000円
 授業料：年間 535,800円（前期 267,900円 後期 267,900円）（2020年4月1日現在）

〈科目等履修生〉 募集人員：科目ごとに若干名
 履修科目：開講科目の中から別に指定します。履修できる単位は博士前期課程は1年で10単位、
 後期課程は4単位を限度とします。
 選考方法：受講を希望する科目毎に担当教員が書類、面談等で審査を行います。
 募集時期：前年度2月中旬頃
 入学料・授業料：
 入学料 28,200円
 授業料 1単位 14,800円（2020年4月1日現在）



兵庫県立大学大学院看護学研究科

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL : 078 -925 - 9404

URL: <https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/>

2020年6月発行